住所　埼玉県ふじみ野市富士見台11-2

電話番号　080-5499-4900

氏名　松川　和生

学校名　東京理科大学

学年　2

　僕が韓国の同世代に伝えたいことは、これからの日本や韓国の未来についてです。今、日本と韓国の関係は竹島問題が発生してから余りよい状態とは言えません。しかし、このような状態が続いていては、非常にまずいということを認識しなければなりません。日本や韓国のような国はお互いに協力し合うことができなければ、将来、世界を相手にまともにやり合うことができなくなってしまうでしょう。なぜなら、日本や韓国といった人口や国土面積の小さい国は「国力」というものが安定しにくいからです。この国力というものには計算式があり、国力＝(人口+経済力+防衛力)×(戦略+意思)というものです。ジョージタウン大学のクライン教授による計算式です。防衛力は経済力と深く結びついており、戦略や意志は人材の質によります。また、人材の質とは人口や経済力に深く結びついています。そこで、ここでは国力の基本となる人口と経済力に注目をしたいと思います。人口というものは、急に大きく増えたり減ったりするものではありません。それゆえに、人口の多い国というのは安定した国力を持っていると言えるでしょう。現在の世界を見てみても、アメリカやロシア、中国などといった世界に対して強い影響力持つ国というのは人口が多いのです。しかし、今の日本や韓国では少子高齢化が進み、将来の人口は減少していく一方だと考えられます。少子高齢化を食い止めることができなければ、国として衰退していってしまうことは容易に考えられます。次に、経済力についてです。経済力というものは安定しません。経済成長によって急激に伸びることもあれば、不況によって急激に落ちることあります。最近の中国がいい例だと思います。現在、日本や韓国が世界で強い発言力や影響力を持っているのは、この経済力が非常に高いからです。人口で圧倒的に負けていても、それを経済力で補うことで国力を高めることができているのです。しかし、先ほども述べたように経済力というものは不安定なものです。今は世界でも上位に位置する経済力を持っていたとしても、数十年後、あるいは、百、二百年後はどうなっているかなどはまったく予想ができないことです。それゆえに、多くの人口を持っている国と比べると、国として安定した国力を持っているとは言えません。そこで、日本や韓国などの人口の少ない国が安定した国力を持つのに必要なのが、EU（ヨーロッパ連合）のような国同士の強い結びつきなのです。ヨーロッパの国々の人口は実はそこまで多くありません。しかし、EUという連合の合計人口で考えると世界でも3位以内には入ります。多くの国が加盟しているのだから当たり前だと思うのは当然ですが、これが重要なのです。EUという連合は非常に安定した国であると考えるとこができるのです。EUが高い経済力と多くの人口を持っているからこそイギリスやフランスなどヨーロッパにある国々は高い国力を維持することができ、現在でも世界で強い発言力や影響力を持っているのです。日本や韓国のような国が将来も安定した国力を持つには様々な国に対して強い結びつきと良い関係を築き、一つの大きな協同体を作ることが必要だと思うのです。我々の国は人口や食料問題など似たような問題を多く抱えています。だからこそ、お互いに寄り添い、協力し合って問題を解決できるほどの関係を築くことできると思うのです。しかし、今は竹島問題などがあり政府としても、なかなか良い関係を作ることが難しいのです。ゆえに、私たちの年代が積極的行動し、日韓の関係を良くしていくことが求められているのだということを考えてみてください。